

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	6-1
PDCA	主要事業名	PCB廃棄物処理事業	部課名	総務部総務課	担当	石島	
					内線	247	

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 2 単位施策： 循環型社会						目標項目（予算計上時に作成）
	全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 63,524 千円						
	会計 一般会計 歳出科目 02.01.05.11.50						
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 42,443 千円						
	事業概要等	事業概要： 公共施設で使用されていたPCBを含有する安定器6缶（858個）を保管しているが、法に基づく処分を中間貯蔵・環境安全事業（北九州市）で行う。愛知県内での処理期限は令和3年度までとされているが、処分施設（北九州市）で受け入れ可能な分量にあわせて、令和2年度及び3年度の2年間に分けて処分する。					
		事業目的： PCB特別措置法に基づき、PCB廃棄物の処分を適正に行う。					
		事業内容： PCB特別措置法に基づき、PCB廃棄物の処分を適正に行う。					
		問題点・ 北九州市処理事業所の処理可能量に限度があり、受入量や実施時課題等： 期が流動的となった。					
	予算額						
	42,102 千円	法律で義務付けられた廃棄物の適切に処理することで、安心・安全な環境づくりに寄与できるため					
	財源内訳						
	市費	得られる成果					
	42,102 千円	公共施設で利用されていたPCBを含有する廃棄物について、PCB特別措置法に基づき、適切に処分できる。					
	国費	目標値や目指すべき状態					
	0 千円	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位		
県費	処理すべき廃棄物（搬送登録対象のドラム缶個数）	実績値	2.0	—	個		
		目標値	2.0	4.0	個		
その他		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
0 千円							

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				評価項目（決算時に作成）
	42,102 千円	法律で義務付けられた廃棄物を適切に処理した。				
		成果指標				
		令和3年度	単位			
	処理すべき廃棄物（搬送登録対象の安定器個数）	実績値	4.0	個		
		目標値	4.0	個		

C 課題の整理	事業の評価・課題	A 遅延なく事業を実施した。				主要施策の成果報告書で活用

A 課題解決の決方向性	今後の事業の方向性	終了 処理すべき廃棄物の処理を完了した。				主要施策の成果報告書で活用
	観点別評価	必要性	有効性	効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 ー	⑦コスト 削減余地 ない		
		②市民ニーズ 低い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない			